



硯修會
常陸守



常陸守




一調一管
龍田

能
隅田川



硯修會
第二回公演

狂言
繩絢



硯修會

第三回公演

午後二時開場
午後三時開演

一調一管 龍田

謡 塩津 哲生
笛 竹市 学
太鼓 三島元太郎

狂言 縄綯

シテ 太郎冠者 山本泰太郎
アド 主人 山本凜太郎
アド 何某 山本東次郎

休憩 二十分

能 隅田川

シテ 梅若丸の母 狩野 了一
子方 梅若丸の霊 塩津 希介
ワキ 渡守 大日方 寛
ワキツレ 旅商人 野口 能弘
笛 竹市 学
小鼓 観世新九郎
大鼓 國川 純
後見 塩津 哲生
地謡 中村 邦生
香川 靖嗣
大村 定
長島 茂
金子 敬一郎
内田 成信
佐々木多門
大島 輝久
佐藤 陽

終演予定
午後五時五十分頃



虚心坦懐に観に向かい、墨を摺る如く

2024年2月24日(土)午後2時開場 / 午後3時開演

12月18日(月)10時~予約受付開始

チケットのお求めは...

■ チケット予約フォーム

<http://kenshu-kai.com/ticket/>

■ 硯修会事務局

Fax 050-1294-5701

kenshukai.ticket@gmail.com

①お名前 ②ご住所 ③お電話 ④FAX番号

⑤ご希望の席種と枚数を明記の上、ご送信下さい。

■ お問い合わせ

硯修会事務局(担当:大日方)

TEL 070-3883-3920 (平日13時~17時)

SS席 9,000円

S席 8,000円

A席 7,000円

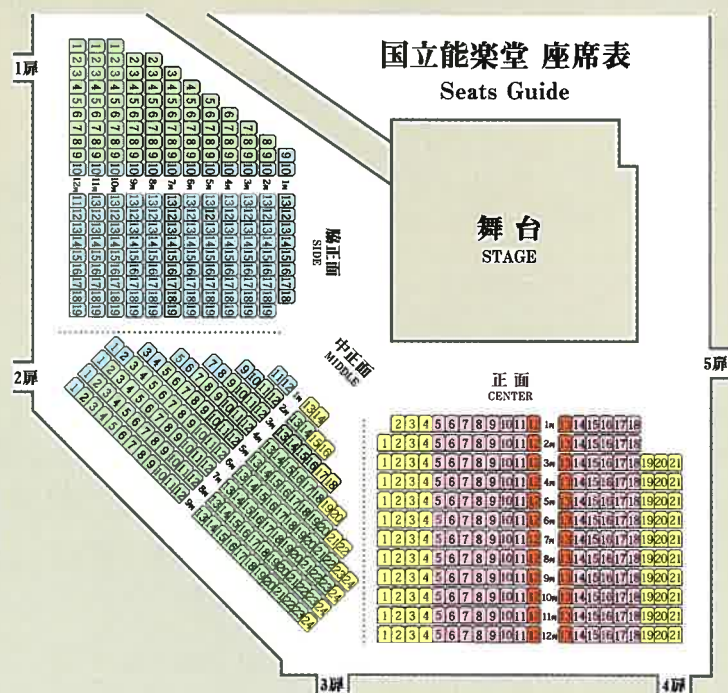
B席 6,000円

C席 5,000円

全席指定

● 学生(30歳以下)
全席種3,000円割引

※ チケットは当日受付にて
学生証をご提示の上
お受け取り下さい



ARTS COUNCIL TOKYO 助成:公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 [東京芸術文化創造発信助成] 後援:日本芸術文化振興会国立能楽堂

- ※ 病気その他やむをえない事情で出演者が変更になることがあります。
- ※ 許可なき撮影、録音はお断りいたします。
- ※ 上演の妨げになる携帯電話、アラーム付時計などの電源はお切りください。
- ※ 公演中止の場合を除き、ご購入後のチケットの払い戻し、変更、再発行はいたしません。

国立能楽堂

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

TEL:03-3423-1331(代表)

● JR(総武線)千駄ヶ谷駅 徒歩5分

● 都営地下鉄(大江戸線)国立競技場駅 A4出口より徒歩5分

● 東京メトロ(副都心線)北参道駅 1-2出口より徒歩7分



本公演は、公演直前に発令されました緊急事態宣言により、やむを得ず中止いたしました第三回公演の振替公演にあたります。前回ご出演頂く苦慮した皆様方、ご来場予定だったお客様方には大変なご迷惑をおかけいたしました事、改めてお詫び申し上げます。また、ここに至るまで三年という期間を要しましたにもかかわらず、ほぼ当初の番組通りの皆様方にご出演賜りますことは望外の幸せであり、心から感謝いたします。

この三年の間、感染症の拡大により日常生活や経済活動には厳しい自粛が求められ、私どもの舞台活動も著しく制限されて参りました。今回はこの苦難の時を乗り越え、の公演となります。同時に、世情に流されることなく如何にひたむきに此道に精進してこられたか、自他ともに問われる公演とも思っております。

第一回公演は「能一番を三人で」という思いを一番に考え、「野宮」という名曲に臨みました。そして、各々が初挑戦の大曲「熊野」膝行三段之舞・「射狸」に挑んだ第二回公演。

第三回公演では、さらに個々の力に焦点を当てることを考え選曲いたしました。一度延期となりましたこと、今の我々にとって、なお一層大事な意味を持つ番組になったと思っております。

【硯修會】という名に込めた「虚心坦懐に我が身を修め舞台に望む」という初志を深く心に刻みつつ、大切に勤める所存でおります。

何卒ご高覧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



竹市 学
箏方 藤田 流



山本 泰太郎
狂言方 大蔵 流



大日方 寛
脇方 下掛宝生 流

一九六八年生まれ
国立能楽堂三役養成事業第三期研修終了
故宝生閑及び宝生欣哉に師事
大学を中退、宝生閑の下で
修行すべく研修生となる
平成三年「小鍛冶」大臣にて初舞台
平成七年「道成寺」
平成二十年「張良」
令和元年「猿蓑小町」披露
令和四年「卒都婆小町」披露

一九七一年生まれ
国立能楽堂三役養成事業第三期研修終了
父故山本則直及び山本東次郎に師事
昭和五十一年「初猿」にて初舞台
昭和六十三年「千歳」を披く
以来国立の研修に加わりながら修行を重ね
平成三年「三巻三」
平成四年「語 那須」
平成六年「獅子駕」
平成八年「釣狐」
平成十七年「花子」などを披露

一九七二年生まれ
国立能楽堂三役養成事業第三期研修終了
故藤田六郎兵衛に師事
昭和六十三年「経政」にて初能
平成七年「狸々乱」「石橋」を披く
以来、平成八年「翁」
平成十一年「道成寺」
平成十三年「清経音取」
平成二十九年「卒都婆小町」
令和元年「猿蓑」披露
令和二年「猿蓑」披露

我が身を修め舞台に挑む

二〇二四年二月二十四日(土) 国立能楽堂